

▶▶▶ 祭り／祭礼を中心とした地域文化財の保存と活用を通じた歴史・文化の継承事業

和歌祭での学生参加による地域交流

および研究による芸能継承

▶ プロジェクトメンバー

- 吉村 旭輝（紀州経済史文化史研究所）
- 長友 文子（日本学教育研究センター）

○はプロジェクト代表

▶ 共創相手

- 和歌山市
- 紀州東照宮
- 和歌祭保存会
- 和歌祭実行委員会
- 和歌祭四百年式年大祭実行委員会
- 和歌山市立雑賀小学校
- 南海電鉄グループ和歌山事務所
- 田辺市
- 田辺祭保存会

プロジェクトの背景

紀州経済史文化史研究所（以下、紀州研）は、博物館相当施設としてこれまでに紀伊半島各地のさまざまな有形・無形の文化財（地域文化財）の保存と活用を行ってきた。とくに和歌の浦では、さまざまな研究を行っており、1989年の和歌の浦景観保全住民訴訟運動でもその研究が基盤となるなど、いまなお研究が蓄積され続けている。その研究は和歌の浦の紀州東照宮の例祭である和歌祭でも当時から行なわれており、2010年の和歌祭唐船での御船歌の復興、そして2017年には352年ぶりとなる唐人の復興を実現してきた。

こうした研究成果を基盤として、和歌山・泉州における祭り／祭礼を中心とした有形・無形の文化財（地域文化財）の価値を、学生、地域住民のみならず国内外に発信し、継承する事業を展開している。具体的には以下の取り組みを実施した。

- ①本研究所および地域に存在する文化財の整理作業を実施するとともに資料集化し、国内外に発信して、地域のアイデンティティを醸成する。
- ②和歌山市指定無形民俗文化財に指定された和歌祭の芸能および和歌山・泉州の祭り／祭礼の価値を学生とともに考察し、学生参加による実践的活動を通して、文化財の価値を継承するとともに国内外にその価値を発信する。

③紀州研ボランティアを指導・助言し、文化財の価値を継承する。

④祭礼用具の新調（基幹予算・日本学教育研究センター予算）によるより多くの学生参加をとおして、無形の文化財の継承を体験することによって文化財保存・活用の理解を醸成する。

プロジェクトの目的

現在、全国各地で祭り／祭礼が行なわれているが、これらのなかにはその存続の危機にさらされているものも少なくない。その原因は少子化や高齢化、また生業の変化や生活スタイルなどの変化など多岐にわたる。その上で、無形民俗文化財としての祭り／祭礼の「保存」と「活用（観光化）」がさげばれ、祭り／祭礼に「価値付け」が為されて格差をうむ現状もある。

こうした問題の背景にあるのは祭り／祭礼を運営する中世以来の座・講やそれを引き継いだ近代以降の自治会や若者組等が解体の危機にあることである。この現状をふまえ、紀州研では和歌祭を担う和歌祭保存会・実行委員会とともに継続して実施している学生と地域が一体となった祭り／祭礼の継承活動を学校機関が積極的に地域にかかわっていく全国的なモデルケースとしたい。

プロジェクトの活動内容

2022年5月15日に和歌祭は四百年式年大祭を迎えた。この大祭を迎えるにあたって、2020年に和歌祭四百年式年大祭実行委員会が立ち上がり、戦後の昭和に行なわれていた和歌山城周辺での渡御（商工祭）の再現のほか、これまでに失われた芸能である棒振り・獅子・童子の復興も2021年に行なわれた。紀州研では特別展を開催し、学生の和歌祭参加の呼び掛けを実施し、総勢158名の学生が参加した。また、田辺市の大学連携地域づくり事業で実施した田辺祭にも5名の学生が参加し、調査・撮影を実施した。

プロジェクトの成果

【和歌祭】

1-1、特別展「和歌祭四百年式年大祭—御神忌と大祭—」

期間：2022年4月12日（火）～6月3日（金）

協力：紀州東照宮、和歌祭保存会

オンライン展示（和歌山大学公式チャンネル）

(<https://youtu.be/tShoST-4a9Y>)

1-2、特別展オープニングイベント：「和歌祭御船歌・唐人披露」

開催日：2022年4月13日（水）

→留学生8名・唐船御船歌連中7名参加

1-3、特別展関連イベント：「和歌祭見学会」

日時：2022年5月15日（日）10：00～

会場：和歌山城西の丸紀州研ブース受付

2、和歌祭唐人装束の考証

2着の装束を追加制作。

→基幹プロジェクト予算約47万円・日本学教育研究



和歌祭四百年式年大祭と参加学生

センター地域と留学生の歴史交流学習事業予算約52万円。

3、キーノ和歌山和歌祭定期公演

4月17日…摺鉦・太鼓、舞姫

5月1日…摺鉦・太鼓、御船歌

4、和歌祭四百年式年大祭

2022年5月15日

神輿、連尺、舞姫、母衣、女子神輿、笹持ち、唐船・御船歌、子供神輿、人足など総勢158名の学生が参加。

5、和歌祭出前授業

2022年12月5日

場所：和歌山市立雑賀小学校

※4年生30人参加

6、和歌祭芸能体験ワークショップ

2022年12月6日

場所：和歌山市立雑賀小学校

※4年生120人参加

【田辺祭】

1、田辺祭

2022年7月23日（土）～25日（月）

学生5名で出囃子、宮入、暁の祭典の調査を行ない、LocalWiki田辺祭

(<https://ja.localwiki.org/tb/%E7%94%B0%E8%BE%BA%E7%A5%AD2022>) に報告を行なっている。

1-2、田辺祭報告会

2023年1月29日（日）

鬮雞神社社務所にて田辺祭の報告会を実施した。



田辺祭調査

プロジェクトに関するお問い合わせ
紀州経済史文化史研究所

E-mail : kishuken@ml.wakayama-u.ac.jp
URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/>

